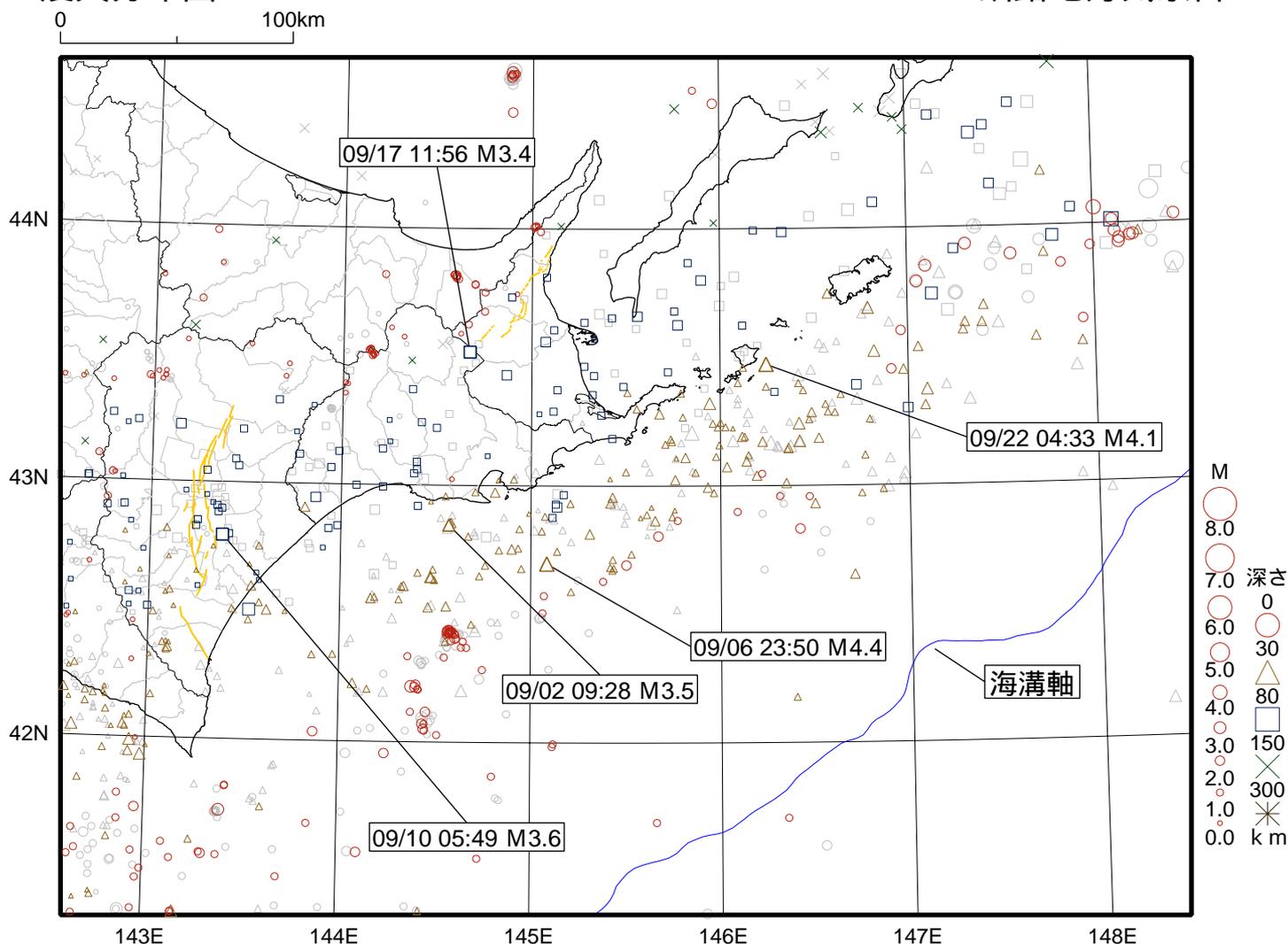


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2021年9月1日～2021年9月30日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況（2021年9月）

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は7回（8月は8回）で主な地震は次のとおりです（詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照）。

6日23時50分、釧路沖の地震(M4.4、深さ58km)により、釧路市(釧路)、標茶町で震度2を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度1を観測しました。

22日04時33分、根室半島南東沖の地震(M4.1、深さ67km)により、浜中町、根室市、中標津町、標津町、羅臼町で震度2を観測したほか、釧路・根室地方で震度1を観測しました。

29日17時37分、日本海中部の地震(M6.1、深さ394km、震央分布図の範囲外)により、幕別町、浦幌町で震度3を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測しました。この地震は、日本の下に沈み込む太平洋プレートのかかなり深い場所で発生したことにより、地震波が太平洋プレートに沿って揺れが弱まらずに伝わったため、北海道などの太平洋側で大きく揺れる「異常震域」と呼ばれる震度分布になりました。

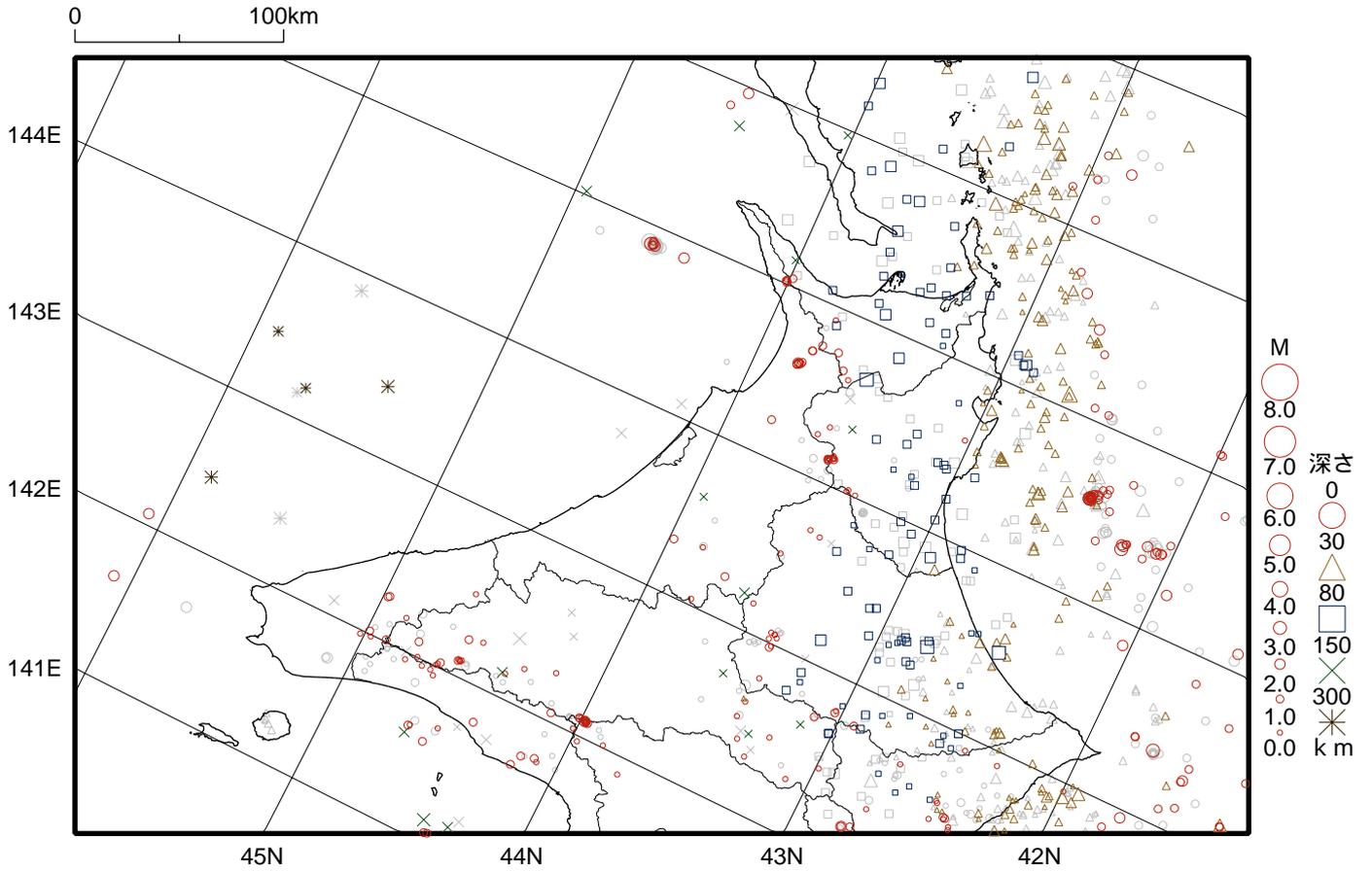
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

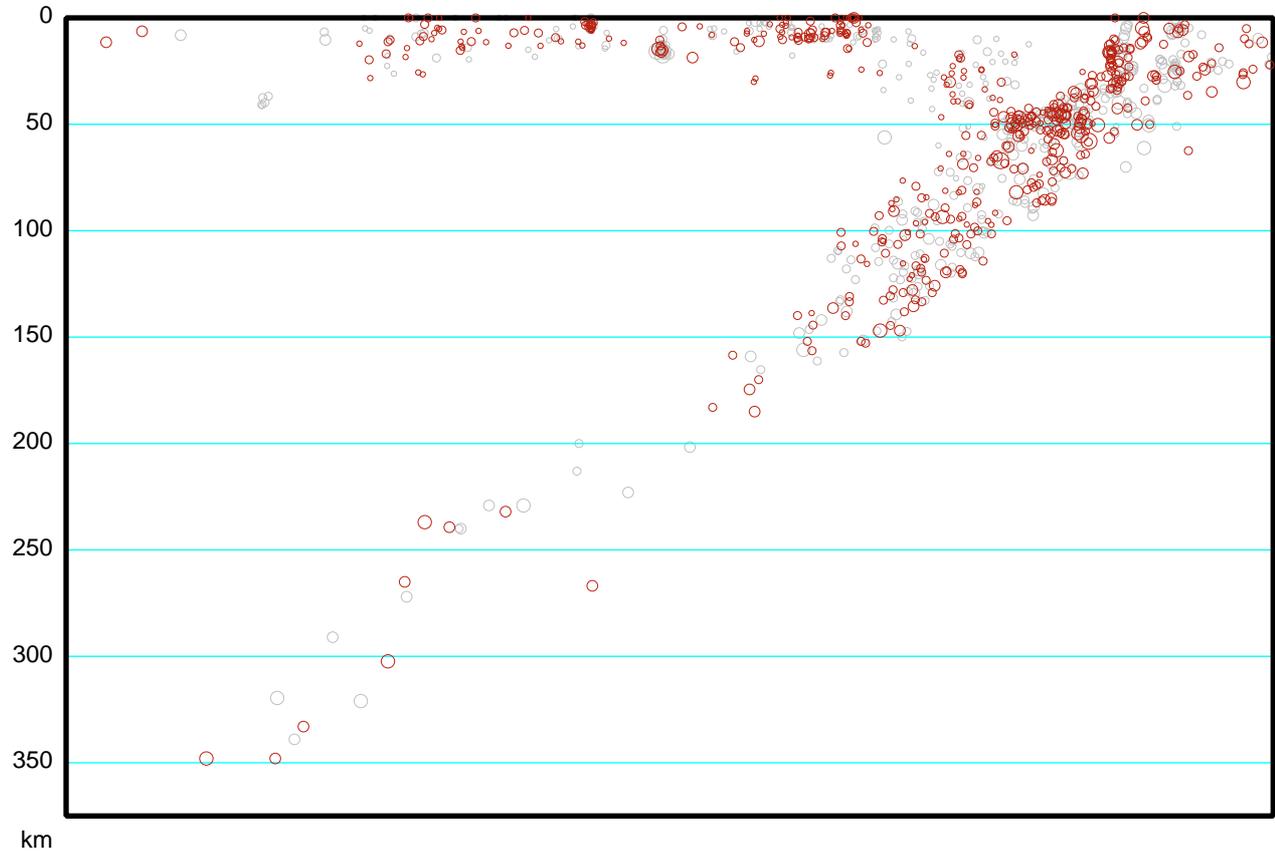
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2021年9月1日 ~ 2021年9月30日

震央分布図



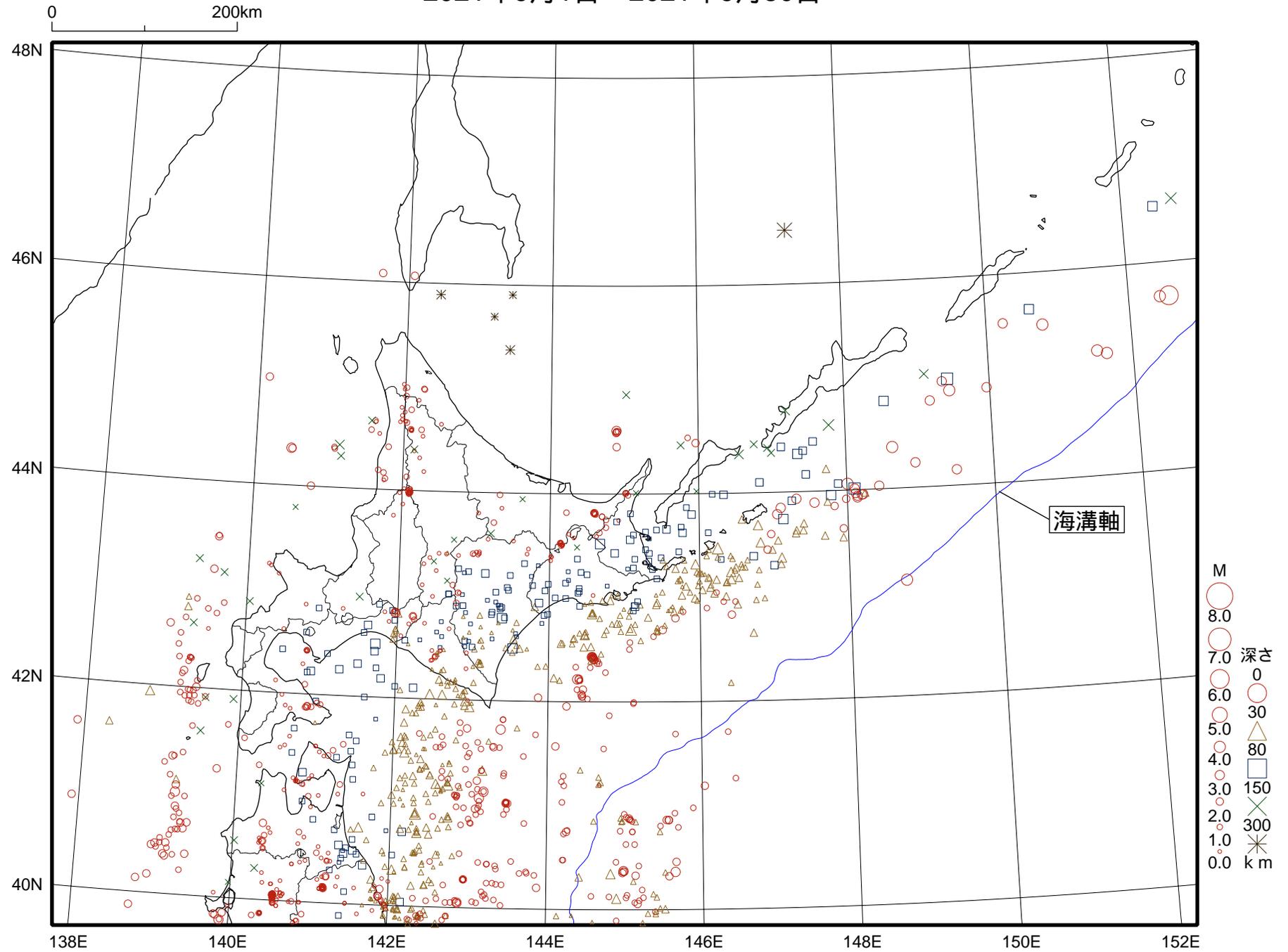
断面図



北海道の地震活動図

2021年9月1日 ~ 2021年9月30日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2021年9月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2021年 9月 2日 釧路地方	09時28分 震度 1	釧路沖 厚岸町尾幌(07) 標茶町塘路*(07)	42°50.6 N	144°34.0 E	47 km	M3.5
2021年 9月 6日 釧路地方 十勝地方 根室地方	23時50分 震度 2 震度 1 震度 1 震度 1	釧路沖 釧路市黒金町*(16) 標茶町塘路*(16) 弟子屈町弟子屈*(10) 釧路市幸町(14) 釧路町別保*(11) 厚岸町尾幌(06) 浜中町湯沸(08) 標茶町川上*(08) 鶴居村鶴居東*(11) 白糠町西1条*(05) 足寄町上螺湾(05) 十勝池田町西1条*(09) 十勝大樹町生花*(14) 中標津町養老牛(10) 標津町北2条*(14) 別海町常盤(06) 根室市牧の内*(08) 根室市厚床*(10) 根室市落石東*(06) 根室市瑛瑤瑠*(08)	42°41.7 N	145°05.0 E	58 km	M4.4
2021年 9月 10日 十勝地方	05時49分 震度 1	十勝地方中部 新得町2条*(07) 豊頃町茂岩本町*(06) 浦幌町桜町*(12) 十勝大樹町生花*(05)	42°47.6 N	143°22.6 E	94 km	M3.6
2021年 9月 17日 根室地方	11時56分 震度 1	釧路地方中南部 根室市厚床*(07)	43°31.1 N	144°40.2 E	147 km	M3.4
2021年 9月 21日 十勝地方 釧路地方 根室地方	05時25分 震度 1 震度 1 震度 1	千島列島 十勝大樹町生花*(07) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(07) 標茶町塘路*(10) 白糠町西1条*(09) 標津町北2条*(11) 別海町常盤(10) 別海町本別海*(09) 根室市落石東*(14) 根室市瑛瑤瑠*(09)	45°40.2 N	152°33.6 E	30 km	M6.6
2021年 9月 22日 釧路地方 根室地方	04時33分 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	根室半島南東沖 浜中町茶内*(19) 弟子屈町弟子屈*(06) 浜中町湯沸(07) 標茶町塘路*(09) 中標津町丸山*(19) 標津町北2条*(15) 羅臼町岬町*(16) 根室市牧の内*(17) 根室市落石東*(16) 根室市瑛瑤瑠*(17) 中標津町養老牛(05) 別海町常盤(12) 別海町本別海*(14) 根室市弥栄(08) 根室市豊里(12) 根室市厚床*(12)	43°28.3 N	146°14.6 E	67 km	M4.1
2021年 9月 29日 十勝地方 釧路地方 根室地方	17時37分 震度 3 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1 震度 2 震度 1	日本海中部 幕別町忠類錦町*(28) 浦幌町桜町*(32) 帯広市東4条(22) 帯広市東6条*(19) 音更町元町*(15) 芽室町東2条*(16) 幕別町本町*(19) 十勝池田町西1条*(18) 豊頃町茂岩本町*(17) 本別町北2丁目(17) 本別町向陽町*(19) 中札内村東2条*(15) 更別村更別*(18) 十勝大樹町東本通*(23) 十勝大樹町生花*(18) 広尾町並木通(16) 上土幌町清水谷*(08) 上土幌町上土幌*(13) 鹿追町東町*(13) 新得町2条*(13) 足寄町上螺湾(12) 陸別町陸別*(09) 土幌町土幌*(13) 十勝清水町南4条(12) 幕別町忠類明和(13) 広尾町白樺通(14) 釧路市幸町(17) 釧路市黒金町*(20) 釧路市阿寒町中央*(20) 釧路市音別町中園*(23) 釧路町別保*(18) 厚岸町尾幌(17) 厚岸町真栄*(17) 標茶町塘路*(20) 白糠町西1条*(21) 弟子屈町美里(07) 弟子屈町弟子屈*(13) 釧路市音別町尺別(14) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(14) 浜中町湯沸(09) 浜中町茶内*(14) 標茶町川上*(14) 鶴居村鶴居東*(12) 標津町北2条*(20) 別海町常盤(24) 別海町西春別*(20) 別海町本別海*(23) 根室市厚床*(21) 根室市落石東*(16) 中標津町養老牛(08) 標津町古多糠(06) 羅臼町緑町*(08) 根室市牧の内*(06) 根室市瑛瑤瑠*(13)	38°47.8 N	135°39.0 E	394 km	M6.1

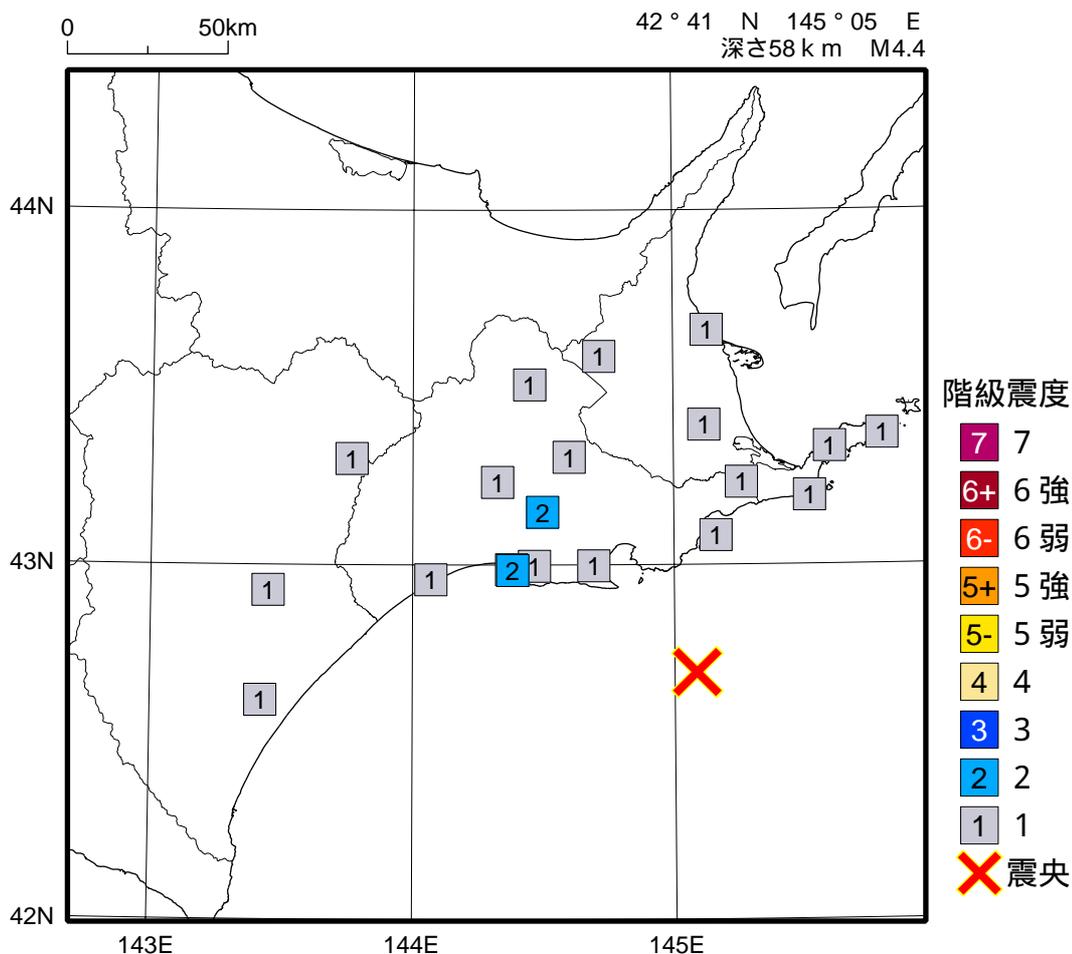
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

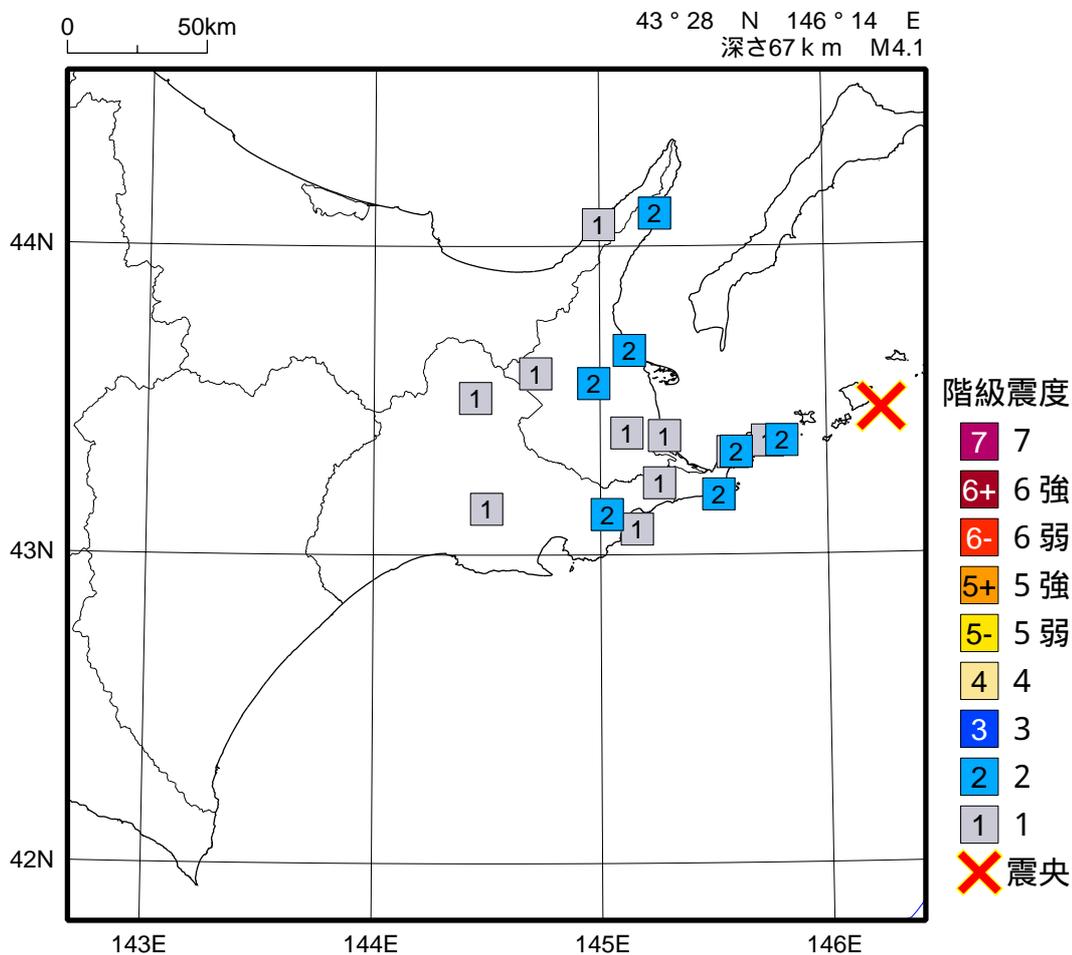
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

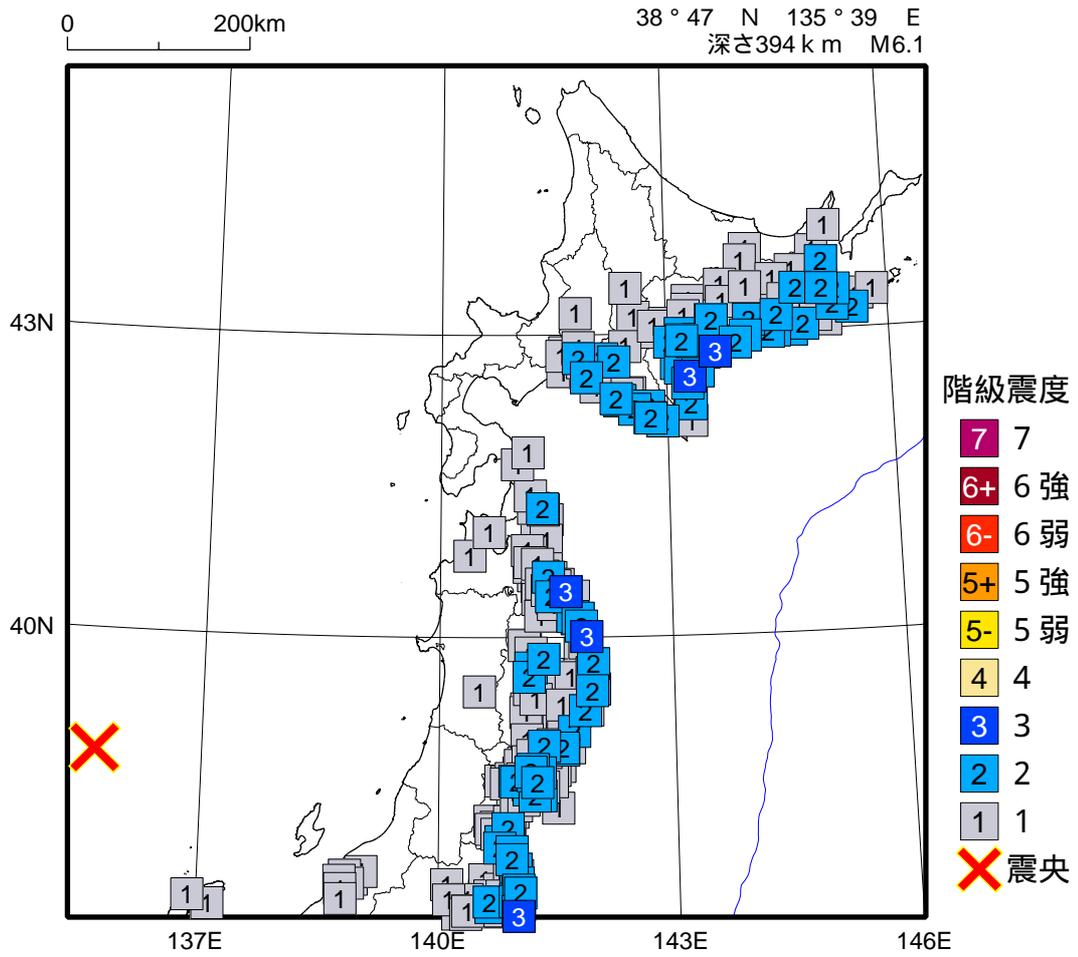
2021年 9月 6日23時50分 釧路沖の地震の震度分布図



2021年 9月22日04時33分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



2021年 9月29日17時37分 日本海中部の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 次の期間の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、それ以外の期間と比較して微小な地震の震源決定数の変化が見られることがあります。
2020年9月1日から10月23日まで、 2021年1月9日から3月7日まで、 2021年4月19日以降
- 2020年9月以降の地震は、それ以前と比較して、処理方法の違い等により、震源の見かけ上の位置や震源決定数に変化が見られることがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～津波防災の日・世界津波の日～

平成 23 年（2011 年）3 月 11 日に発生した東日本大震災を教訓として、同年 6 月に津波対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした「津波対策の推進に関する法律」が制定されました。その中で、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるために、のちに「稲むらの火」のモデルにもなった 1854 年の安政南海地震による大津波が紀伊半島などを襲った 11 月 5 日（旧暦）を「津波防災の日」とすることが定められました。また、平成 27 年の国連総会において、この日を「世界津波の日」にすることが採択され、津波防災の新たな取り組みが始まりました。

※「稲むらの火」

安政南海地震津波での和歌山県における史実をもとに、海辺の村を大津波が襲った際、村の郷土が収穫したばかりの穂を積み上げた「稲むら」に火を放ち、暗闇の中で多くの村人を高台に導いて救ったという物語。戦前の国語教科書に掲載され、現在も津波防災教材として国内外で高く評価されています。

●緊急地震速報訓練に参加しましょう

津波から安全に避難するためには、まず地震の揺れでけがをしないことが大切です。緊急地震速報はそのために役に立つ情報ですが、訓練に参加し実際に体を動かす経験をしておくことで、とっさの時に安全行動を取りやすくなります。毎年 11 月 5 日の津波防災の日には、緊急地震速報の全国的な訓練を国の機関や地方公共団体のほか、学校、民間企業等や個人にも幅広く呼びかけて実施しています。もしもの時にご自分の命を守るため、積極的にご参加ください。

（※今年度の訓練はこちら <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>）



シェイクアウト訓練

シェイクアウト訓練は地震の際の安全確保行動を身に着ける訓練です。緊急地震速報訓練でこの訓練が行われる自治体にお住いの場合は、積極的に参加してみましょう。

出典：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議 (<http://www.shakeout.jp/>)

●津波から身を守るために

危険な場所を確認しよう

津波に襲われる恐れのある場所をハザードマップや周辺地形から確認しておきましょう。



津波注意

避難場所を確認しよう

津波避難ビルや津波避難場所がどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。



津波避難ビル・津波避難場所

避難訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練に参加しましょう。

